



安全データシート TIJ-BL652-5 PRINTING INK

JIS Z 7253「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準拠。

1 : 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 TIJ-BL652-5 PRINTING INK

製品番号 TIJ-BL652-5

化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 印刷インキ。

安全データシートの供給者の詳細

供給者 ブラザーインダストリアルプリンティング株式会社
東京都大田区西蒲田8-20-8 アゼル3号館
電話番号 : 03-3736-2731
FAX番号 : 03-3736-2734
メールアドレス : bipj-dominosds@brother.co.jp

製造者 Domino UK Ltd
Bar Hill
Cambridge
CB23 8TU
Tel: +44 (0) 1954 782551
Fax: +44 (0) 1954 782874
Email: sds@domino-uk.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 緊急電話 : +44 207 858 0111 (24時間、英語のみ)

2 : 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外
健康有害性 眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319
環境有害性 区分外

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報 H319 強い眼刺激。

TIJ-BL652-5 PRINTING INK

注意書き

P264 取扱い後は汚染された皮膚をよく洗うこと。
P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断 / 手当てを受けること。
P405 施錠して保管すること。
P501 国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

他の危険有害性

3：組成及び成分情報

混合物	
ヘキサン - 1 , 2 - ジオール	10-20%
CAS番号: 6920-22-5	
分類	
眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

4：応急措置

応急措置の説明

一般情報	気分が悪いときは、医師の診断 / 手当てを受けること。医療関係者にこの安全データシートを見せること。
吸入	被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。
経口摂取	飲み込んだ場合：口を水で十分にすすぐこと。
皮膚接触	皮膚に付着した場合：水で洗うこと。
眼接触	眼に入った場合：水で洗うこと。
応急措置をする者の保護	応急処置を行う者は救助活動中は常に適切な保護具を着用しなければならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報	健康危険有害性についての追加情報は、項目11を参照。
吸入	特定の症状は知られていない。
経口摂取	特定の症状は知られていない。
皮膚接触	敏感な個人は皮膚感作またはアレルギー性反応を引き起こすおそれがある。
眼接触	眼を刺激する。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

特別な治療	特別な治療は必要ない。
医師に対する特別な注意事項	特定の推奨事項はない。症候に基づいた処置を行うこと。懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。

5：火災時の措置

消火剤	
適切な消火剤	製品は可燃性/引火性でない。耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤または水霧で消火すること。
使ってはならない消火剤	火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性	過剰な圧力増大が生じるので、容器は加熱すると激しく破裂または爆発することがある。
----------	--

TIJ-BL652-5 PRINTING INK

有害燃焼副産物	熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある： 有害なガスまたは蒸気。 二酸化炭素 (CO2)。 一酸化炭素 (CO)。
消火を行う者の保護	
消火活動中の保護措置	火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。 閉鎖空間に立ち入る前に換気すること。 水スプレーを使用して熱にさらされた容器を冷却すると共にリスクを伴わずに対処可能ならそれらの容器を火災区域から移動させること。 炎にさらされた容器は消火後も十分な時間冷却し続けること。 封じ込めにより流去水を管理して下水道および水路に流入させないようにすること。
消火を行う者を保護するための特別な保護具	陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。 消防士の衣類は化学物質に対して基本レベルの保護を提供する。

6：漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	
人体に対する注意事項	適切に訓練されていない場合または何らかの人的リスクを伴う場合にはいかなる活動も行ってはならない。 不要な人員および保護されていない人員を抽出物から遠ざけること。 この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。 この安全データシートに記載されている安全取扱いに関する注意事項に従うこと。 流出物の取扱い後は十分洗うこと。 流出した物質に触れたりその中に踏み込んだりしないこと。
環境に対する注意事項	
環境に対する注意事項	排水管または水路あるいは地表への放出を防止すること。 水生環境への放出を防止すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	
浄化方法	この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。 直ちに流出物を片付けて廃棄物を安全に廃棄すること。 小規模流出： 吸収性の布で拭き取り廃棄物を安全に廃棄すること。 大規模流出： 砂、土またはその他の不燃材料で流出物を封じ込めて吸収させること。 廃棄物をラベルの貼られた、密閉容器に入れること。 環境規則を遵守しながら、汚染された物体および区域を入念に浄化すること。 汚染された区域を多量の水で洗い流すこと。 流出物の取扱い後は十分洗うこと。 項目13の指示に通りに漏出物を回収して廃棄すること。
他の項目の参照	
他の項目の参照	個人保護具については、項目8を参照。 健康危険有害性についての追加情報は、項目11を参照。 生態学的危険有害性についての追加情報は、項目12を参照。 廃棄物の廃棄処理については、項目13を参照。

7：取扱い及び保管上の注意

安全な取扱のための予防措置	
使用上の予防措置	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。 流出を最小限に抑えるためにすべての包装および容器を慎重に取り扱うこと。 保護具を着用せずに破損した容器を取り扱わないこと。 使用しないときは容器を厳重に密閉しておくこと。
職業衛生全般に関する助言	各作業シフトの終了後および飲食、喫煙およびトイレの使用前に洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
混蝕禁止物質を含む、安全な保管条件	
保管上の予防措置	容器を密閉して換気のよい冷所に保管する。 容器を立てておくこと。
保管クラス	化学物質の保管。
特定最終用途	
特定最終用途	この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

8：ばく露防止及び保護措置

ばく露防止	
保護具	
	

TIJ-BL652-5 PRINTING INK

適切な設備対策	換気または他の管理手段の効果および呼吸用保護具の必要性を判定するために個人、職場環境または生物学的なモニタリングが必要になる場合がある。 防止手段の定期的な検査と保守が行われていることを確認すること。 設備対策にはガス、蒸気または粉塵濃度を爆発下限界濃度未満に維持することも要求される。
眼 / 顔面の保護	顔面に密着する、化学物質飛沫ゴーグルまたは保護面を着用すること。 眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。
手の保護	リスク評価により皮膚接触の可能性が指摘された場合には承認された規格に適合した耐薬品性の、不浸透性手袋を着用しなければならない。 手を化学物質から保護するには、手袋はJIS T8116: 2005に適合していなければならない。 頻繁に交換することが推奨される。 手袋の材料の破過時間に関する情報を提供することができる手袋供給業者/製造業者と協議して、最も適切な手袋を選択しなければならない。
その他の皮膚及び身体の保護	皮膚汚染を防止するために適切な衣類を着用すること。
衛生措置	洗眼ステーションおよび安全シャワーを設けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 取扱中は飲食禁止および禁煙。
呼吸器の保護	特定の推奨事項はない。 空中浮揚汚染物質が推奨職業暴露限界値を超える場合には呼吸用保護具を必ず使用しなければならない。
環境ばく露の防止	環境に危険であるとは考えられない。

9：物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報	
外観	液体。
色	青色。
臭い	穏やかな臭い。
pH	pH (濃厚溶液) : ~7.7
融点	0°C 記載されている情報は主要成分に適用される。
初留点及び沸騰範囲	100°C @ 760 mm Hg 記載されている情報は主要成分に適用される。
引火点	関連しない。 製品は可燃性/引火性でない。
燃焼性 (固体、気体)	関連しない。 製品は可燃性/引火性でない。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	関連しない。 製品は可燃性/引火性でない。
蒸気圧	2.34 kPa @ 20°C 記載されている情報は主要成分に適用される。
蒸気密度	> 1
相対密度	1.016 @ 25°C
溶解度	水可溶性。
自己発火温度	関連しない。 を含む 水
分解温度	関連しない。 を含む 水
粘度	1.9 - 2.0 cP @ 25°C
爆発特性	爆発性であると考えられない。
酸化特性	酸化性物質の分類基準を満たさない。
揮発性有機化合物	この製品は最大含有量15%のVOCを含んでいる。 この製品は最大含有量0.15kg/lのVOCを含んでいる。

10：安定性及び反応性

反応性	詳細は項目10 (危険有害性反応可能性) を参照のこと。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。 規定された保管条件下では安定。

TIJ-BL652-5 PRINTING INK

危険有害性反応危険性	危険有害性反応の可能性は知られていない。
避けるべき条件	危険有害性状態をもたらす可能性のある条件は知られていない。
混触危険物質	製品と反応して危険有害性状況を生じる可能性のある特定の物質または物質群は無い。
危険有害な分解生成物	推奨事項に従って使用および保管した場合には分解しない。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：有害なガスまたは蒸気。一酸化炭素 (CO)。二酸化炭素 (CO2)。

11：有害性情報

有害性情報

毒物学的影響	記載されている情報は、成分および類似した製品のデータに基づく。
急性毒性 - 経口 備考 (経口LD ₅₀)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
急性毒性 - 経皮 備考 (経皮LD ₅₀)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
急性毒性 - 吸入 備考 (吸入LC ₅₀)	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
皮膚腐食性 / 刺激性 動物データ	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	強い眼刺激。
呼吸器感作性 呼吸器感作性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
皮膚感作性 皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
生殖細胞変異原性 遺伝毒性 - in vitro	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
発がん性 発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
生殖毒性 生殖毒性 - 生殖能 生殖毒性 - 発生	生殖毒性であることが公知の物資を一切含まない。 生殖毒性であることが公知の物資を一切含まない。
特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回ばく露	単回暴露後の特定標的臓器毒性には分類されない。
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復ばく露	反復暴露後の特定標的臓器毒性物質に分類されない。
吸引性呼吸器有害性 吸引性呼吸器有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
一般情報	記載されている情報は、成分および類似した製品のデータに基づく。記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。
吸入	特定の症状は知られていない。

TIJ-BL652-5 PRINTING INK

経口摂取	特定の症状は知られていない。
皮膚接触	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
眼接触	眼を刺激する。
ばく露経路	経口摂取 吸入 皮膚および/または眼との接触
標的臓器	特有の特定標的臓器は知られていない。

成分に関する毒性学的情報

ヘキサン - 1 , 2 - ジオール

急性毒性 - 経口

備考 (経口LD₅₀) LD₅₀ 5.339 mg/kg, 経口, Rat - male LD₅₀ 6.166 mg/kg, 経口, Rat - female

急性毒性 - 経皮

備考 (経皮LD₅₀) REACH 一件書類情報。 LD₅₀ > 2000 mg/kg, 経皮, ラット

急性毒性 - 吸入

備考 (吸入LC₅₀) REACH 一件書類情報。 LC₅₀ > 7015 mg/m3, 吸入, ラット

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼に対する重篤な損傷性 / 眼 眼刺激。
刺激性

12：環境影響情報

生態毒性	環境に危険であるとは考えられない。しかしながら、大量または頻繁な流出は環境に対して危険有害性影響を及ぼすおそれがある。
毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

成分に関する生態学的情報

ヘキサン - 1 , 2 - ジオール

急性水生毒性

急性毒性 - 魚類 REACH 一件書類情報。
LC₅₀, 96 時間: > 1000 mg/l, Oncorhynchus mykiss (ニジマス)

急性毒性 - 水生無脊椎動物 REACH 一件書類情報。
無影響濃度 (NOEC) , 48 時間: > 110 mg/l, Daphnia magna (オオミジンコ)

急性毒性 - 水生植物 REACH 一件書類情報。
無影響濃度 (NOEC) , 72 時間: >= 100 mg/l, Pseudokirchneriella subcapitata

急性毒性 - 微生物 REACH 一件書類情報。
無影響濃度 (NOEC) , 3 時間: >= 1000 mg/l, 活性汚泥

残留性・分解性

残留性・ 分解性 製品の分解性は未知である。

生体蓄積性

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

成分に関する生態学的情報

ヘキサン - 1 , 2 - ジオール

分配係数 log Pow: 0.58

土壌中の移動性

移動性 データなし。

TIJ-BL652-5 PRINTING INK

安全性データシートに使用されている略語及び頭文字	ATE: 急性毒性推定値。 CAS: ケミカルアブストラクツサービス。 EC ₅₀ : 半数影響濃度。 GHS: 世界調和システム。 IARC: 国際がん研究機関。 IATA: 国際航空運送協会 Kow: オクタノール - 水系分配係数。 LC ₅₀ : 半数致死濃度。 LD ₅₀ : 半数致死量。 LOAEL: 最小毒性量。 NOAEL: 無毒性量。 PBT: 難分解、生体蓄積性、毒性物質。 vPvB: 高残留性・高生体蓄積性。
主要な参考文献及びデータの出典	情報源：欧州化学品局、 http://echa.europa.eu/ 供給者情報。
訓練に関する助言	訓練を受けた人員のみがこの物質を使用すること。適切に訓練されていない場合または何らかの人的リスクを伴う場合にはいかなる活動も行ってはならない。労働者が暴露を最小限に抑えるよう訓練されることを確認すること。緊急時の汚染除去および廃棄の手順および訓練が適切であることを確認すること。
改訂に関する注釈	備考：余白中の線は以前の版からの重大な変更を示している。
改訂日	2024/12/05
改訂版	2
更新日	2023/09/04
SDS番号	5062
危険有害性情報の全文	H319 強い眼刺激。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明をするものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。